

様式 A-1

平成 29 年 11 月 17 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 岩手県立釜石高等学校 伊藤優美
2. 講師氏名: David D. ORDINARIO 博士
3. 同行者氏名: 無し
4. 実施日時: 平成 29 年 10 月 30 日 (月) 10:40 ~12:30
5. 参加生徒: 2 年生 15 人 (合計 15 人)
備考: 理数科の生徒
6. 講演題目: David D. ORDINARIO 博士:
"Methods for the Detection and Monitoring of Biological Signals"
「生体反応の検出及び観察の方法」
7. 講演概要:
はじめに、ご自身の生い立ちと出身地についての紹介をしていただいた。その後、研究者になった背景やこれまで行ってきた研究、現在取り組んでいる研究について説明していただいた。筋肉が動くのは体を流れる電気の働きによるもので、その電気の流れを検出する事で体の動きの仕組みを明らかにしていくという内容の講演だった。最後に質疑応答の時間を設けた。
8. 使用言語: 英語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 90 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
無し
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
英語科教員による自作のワークシート
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: